

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 研究成果伝達会
「高品質な被覆茶を安定生産するための技術開発」開催要領

1. 趣旨

近年、被覆栽培された茶葉への需要が高まっている。しかしながら、被覆作業には労働力を要するのみでなく、過度の被覆処理は茶樹にダメージを与える懸念がある。本成果伝達会においては、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「被覆茶需要に応える簡易な樹体診断法と効率的被覆作業による高品位安定生産体系の確立」及び「実需者の求める、色・香味・機能性成分に優れた茶品種とその栽培・加工技術の開発」において進めてきた被覆に適した茶品種の育成や、被覆処理が茶樹に及ぼす影響、茶樹の樹体診断法、被覆アタッチメント使用による効率化等について意見交換を行い、被覆茶の安定生産に関わる諸技術の普及を図る。

2. 開催日時

平成29年11月16日（木曜日） 9時40分～15時30分

3. 主催 農食事業 27015C コンソーシアム

共催 農食事業 26099 コンソーシアム

4. 開催場所 TKP神田ビジネスセンター会議室 401

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 3-2 神田アベビル TEL : 03-5217-5577

5. 日程

9:40	挨拶	農研機構果樹茶業研究部門 茶業研究監 農食事業 27015C コンソーシアム 研究総括者
9:50	被覆にともなうチャ樹体内の代謝変動	静岡大学 一家崇志
10:20	被覆にともなうチャ葉の形態及び成分変動	農研機構 佐野智人
10:50	被覆に適したチャ品種の育成	農研機構 吉田克志
11:30	休憩	
12:50	茶園における被覆作業の機械化	三重県農業研究所 丹羽 努
13:20	被覆が樹体に及ぼす影響とその評価	静岡県農林技術研究所 鈴木利和
14:00	被覆が茶樹の樹冠面温度に及ぼす影響と熱画像を用いた樹体診断への応用	京都府農林水産技術センター 竹本哲行
14:40	休憩	
15:00	総合討議 「被覆茶の安定生産技術の普及にむけて」	進行 農研機構 堀江秀樹
15:30	閉会	

6. 参集範囲

生産者、関連企業、国立研究開発法人及び公設試験研究機関、国及び地方自治体行政・普及担当者、当該技術にご興味のある方

7. 参加申し込み

平成 29 年 11 月 2 日（木）までに、①参加者名、②ふりがな、③所属、④連絡用メールアドレスか電話番号を本文に記載して事務局あてメールで申し込みください。

8. 定員 120 名（先着順）

9. 事務局：農研機構果樹茶業研究部門 茶業研究領域 堀江秀樹

TEL：0547-45-4101 FAX：0547-46-2169 E-mail：kadaiabetu-cha@ml.affrc.go.jp